

かなね

長久手市立長久手小学校

校長 森田 浩 暮



校 訓：明るく 強く 正しく

学校教育目標：夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子

ほんの少しの違い ● ● ●



夏休み期間中、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、愛知県や長久手市においても、感染者が爆発的に増加しました。現在もコロナウイルスに感染していたり、濃厚接触者となっていたりして欠席している児童も少なくありません。しかしながら、多くの児童が元気に登校できているのは、夏休み期間中を含め、保護者や地域の方々のご理解とご協力によるものと改めて感謝申し上げます。本日、2学期の始業式を無事に終え、教育活動をスタートさせることができました。子どもたちに豊かな学びを保障するため、市教育委員会や学校医等の指導の下、感染症予防対策を十分にとりながら、授業や各種行事に取り組んで参ります。今後も感染状況に応じて、急きょ予定の変更や中止をする場合もあるかと思いますが、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。まだまだ猛暑が続くことが予想されます。コロナ感染予防対策同様、併せて暑さ対策についても各家庭でのご協力をお願いいたします。

さて、地元の図書館で目にした一編の詩を紹介します。

「ほんの少しの違い」

できない人は言葉で説得し

できない人は話したが

できない人はお金を求め

できない人は過去にこだわり

できない人は不可能と思

できない人は他人のせいにして

できない人は一人で頑張り

できる人は行動で説得する

できる人は聞きたがる

できる人は成長を求め

できる人は未来にこだわる

できる人は可能と思

できる人は自分のせいにする

できる人はみんなで頑張り



できる人もできない人も

能力にほとんど差はない

ほんの少しの意識の違いによって

結果に差が生まれる



田口 久人 著 『20代からの自分を強くする』 より

人は誰でも不安があり、全員が自信に満ち溢れているということはありません。このようなコロナ禍では、その傾向は強くなっています。このような状況下で、自分で考えて行動しようとせず、「コロナだから」とか「世の中の流れだから仕方がない」と思ってあきらめてしまうことがないでしょうか。この詩の通り、「できる人」「できない人」も能力にほとんど差がないのかもしれませんが、ほんの少しの心のもちようの積み重ねにより、差が生まれたり、大差をつけられたりするのではないかと考えます。2学期のはじめに当たり、この詩を意識しながら自分の言動を問い直してみたいでしょうか。